

議員提出議案第29号

北朝鮮による日本人拉致問題の真相究明と早期全面解決に関する意見書

上記の議案を提出する。

平成16年12月21日

提出者

3番	島崎義司
25番	与座武
6番	田辺あき子
9番	本間まさよ
10番	近藤和義
17番	松本清治
20番	井口良美
28番	深沢達也

武蔵野市議会議長 田中節男 殿

北朝鮮による日本人拉致問題の真相究明と早期全面解決に関する意見書

北朝鮮による日本人拉致問題についての第3回日朝実務者協議が、去る11月9日から平壤で開催されました。この協議で北朝鮮は、横田めぐみさんのものだという「遺骨」など、多数の資料や物証を提示しました。このことによって、拉致被害者家族を初め日本国民は事件解明につながるものと大きな期待を寄せていましたが、「遺骨」はDNA鑑定の結果、全く別人のものと判明しました。

政府間の公式協議で虚偽の資料を提出するという北朝鮮の行為は、拉致被害者家族の願いを踏みにじるばかりでなく、日本政府及び日本国民を愚弄するものです。平成14年の「日朝平壤宣言」では、「日朝間に存在する諸問題に誠意を持って取り組む」ことをうたっていますが、このたびの北朝鮮の対応は「誠意を持った取り組み」とは到底言えず、このままでは、拉致問題の解決は期待できない状況にあります。

よって、武蔵野市議会は、貴職に対し、北朝鮮と粘り強く交渉するとともに、経済制裁の積極的発動を検討するなど、北朝鮮との交渉に際しては毅然とした態度を示すことによって、北朝鮮側が拉致の全容を即時明らかにし、死亡・不明とされた拉致被害者はもちろん、拉致されたすべての特定失踪者の全面的解放と、責任を持って日本に帰国させることを求め、拉致問題の早期解決を図るよう強く要請します。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成16年12月 日

武蔵野市議会議長 田 中 節 男

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
総務大臣
外務大臣
財務大臣
経済産業大臣
国土交通大臣
国家公安委員会
委員長

— あて